

長時間過密労働解消のための実効ある措置を

教職員増、欠員対策、子育て・介護制度の拡充、
栄養教諭の負担軽減、寄宿舎の充実発展と採用選考再開
等を訴え

大障教ニュース

大阪府立障害児
学校教職員組合



ホームページ



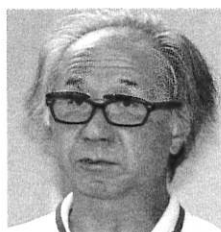
あいさつする西面委員長

大障教専門部交渉

7月25日、大障教は専門部交渉を実施しました。専門部9人が参加し、各専門部が重点要求について、府教委の見解をいただき、勤務労働条件の改善を求めました。

◇寄宿舎教員部

寄宿舎の実態を示し、府学校教育審議会答申を踏まえ、寄宿舎の機能維持・充実を早急に具体化し、早急に採用選考を再開して正規職員配置等による負担軽減を求めました。府教委は、「答申においては、『寄宿舎は今後もその機能の維持に努



寄宿舎教員部
井原さん

めていく必要がある』と示されており、必要となる対応については、利用者ニーズ等を踏まえながら、引き続き検討する」という回答にとどまり、具体化の時期について示しませんでした。毎年「総括児童生徒職員選考」実施をという要望に対して府教委は、定年退職者等の状況をふまえ「今年度は選考を実施する方向で検討している」と回答しました。



栄養教員部
久保さん

調理業務委託業者の入札・選定について、2026年度更新対象校10校のうち6校が「最低入札価格を下回る価格」で契約となった。現行入札制度の課題を示し、調理業務委託業者の入札・選定は品質確保を最重要視しておこなうことを求めました。府教委は、総合評

◇女性部



女性部
山中さん

アンケートの切実な声をもとに、短期介護の日数増、取得条件の拡充などを求めました。府教委は「働きやすい職場環境を整えることは重要と認識しているが、国の制度に準じる形となっている」「証明の書類については管理職の判断となるが、原則として不要」と述

◇栄養教員部



女性部
荒木さん

べました。産前産後休暇及び育児休業取得者が年度途中に復帰する場合、その代替講師を年度末まで並行して任用できるようにという要望について府教委は、「他県の情報も収集している。安心できる働き方に関する今後の要望として受け止める」と回答しました。

価について「今が一番いい状態では無く、今後ともさらによい業者が選べるように工夫したい」「最低価格を下回った業者について、低入札価格の調査制度、根拠資料を提出いただきヒアリングする」と述べました。栄養教諭の複数配置の要望について府教委は、「給食を実施する学校に1人配置としている。標準法を上回る栄養教諭の複数配置については困難」と回答しました。

大阪府立障害児学校教職員組合 大阪市天王寺区東高津町7-11 府教育会館704号 TEL 06-6765-8904 FAX 06-6765-8905

書記局の ひしひしと

高市内閣は、5月27日に成立させた国家情報会議・国家情報局設置法を足掛かりに、政府によるスパイ活動(諜報)と外国のスパイ活動へ対処(防諜)するため「スパイ防止関連法制」と「対外情報庁の創設」をめざしています。軍拡と一体で急速に進められるこの動きは、侵略戦争遂行のために「国民防諜」を推進した戦時中を想起させると小樽商科大学名誉教授の萩野富士夫さん(日本近現代史)は警鐘を鳴らします。

1945年10月、GHQの「人権指令」を受け、治安維持法など15の法令が廃止されました。そのうちの7つが軍機保護法などの防諜法令で、これらの法令が国民を抑圧した弾圧法だと連合国側は認識していたからです。戦後、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟の活動や横浜事件などが大きな役割を果たし、治安維持法が悪法だという認識は国民のなかで一定共有されています。一方で、防諜法令に関しては、その恐ろしさが比較的に早い1960年ごろには忘れ去られてしまったと指摘します。

軍機保護法などの防諜法では、たまたま港で艦隊出港するのを目撃したり、兵隊を乗せた列車を目にしたたりして、ぼろっと話したことで逮捕され、処罰されました。また、戦況の悪化にともなう不平・不満が募ってくるなかでは、それを漏らせば敵国につけ込まれることから、政府のやっていることを100%信頼せよというのが、「国民防諜の流れ」となっていくきます。すると、食糧配給の遅れに愚痴を言ったことが密生され、警察に引っ張られるケースまでありました。国民にとつての日常的な脅威は、防諜法令だったと言えます。平和憲法のもとで、他国のスパイ活動に対処することを目に、国民を互いに監視させるような社会を望んでいないとの声をあげる時です。

大障教専門部交渉 (表面よりつづき)

◇青年部

青年教職員の長時間労働、



青年部
井上さん

は「業務が増えていくという声は聞いている」「できる限り少しでも負担をとり、のぞけるよう努力したい」と述べつつ、新たな策は示されませんでした。また、



青年部
上野山さん

初任者・10年経験者研修において、オンデマンド研修が時間内に視聴できない実態を示し改善をもとめました。府教委は、「当然勤務時間内におこなわれるべき」「時間内にみることが難しいということを受けて工夫しているが、ご意見として真摯にうけとめる」と回答しました。

◇事務職員部



事務職員部
古川さん

に関しては特別配当なりで対応している」と述べました。事務職員の人員配置については欠員が生じている実態を示し改善をもとめました。府教委は、「適切に確保する必要がある」「一定

◇臨時教職員問題対策部

学校環境の水準低下を招かないようにするために必要な光熱水費予算等、学校管理費を確保することにより教職員の負担軽減をはかり、各校の相談にも対応することを強く求めました。府教委は、「今後とも学校運営に支障が生じないよう必要な予算額の確保に努める」「漏水等突発的な事象

学校看護師から、責任ある重要な任務である泊行事における業務に見合った手当の創設や体制の拡充、定数外配置の要望について実態をしめし、強く改善を求めました。府教委は、「泊行事における非常勤看護師

の報償費については、昨年度上げた。(実態から)十分な報償費ではないと思うが、すぐには難しく引き続き考えます」と回答しました。教員の「特殊勤務手当」にあたる手当の創設は、制度上困難と回答し、実態の

認識はあり「課題である」と意識はある」という回答にとどまりました。大障教からは、人事院会規則には、「夜間看護手当」が明記されている。府立病院が大阪機構になったあとも、「特殊業務手当」と「夜間特殊

業務手当」が支給されていることを示し、民間との均衡の観点からも改善を要求しました。定数外配置については、「看護師の標準法定数内配置の義務付けを強く国へ要望」と回答しました。



核兵器も戦争もない平和な社会」へ

原水爆禁止2026年世界大会



8月4日～6日、米国が広島に原爆を投下してから81年となる「原爆の日」を迎えた広島市で、原水爆禁止2026年世界大会が開かれました。大障教から青年含む3人が参加しました。



4日の広島県立総合体育館で行われた開会総会(約2000人)に参加し、5日はフォーラムと分科会に参加、夜は全教・教組共闘主催「教職員の平和のつどいin広島」にて学びあいました。6日の閉会総会・ヒロシマデー集会(3400人)では、国連の中満泉軍縮担当上級代表の連帯のメッセージ、海外代表や高校生からの発言がありました。最後に、「『核兵器のない平和で公正な世界』への希望きりひらくため、新たな決意で行動に立ち上がる」と訴える決議「広島からのよびかけ」が採択されました。

「被爆者の体験を共有し、核兵器廃絶と平和の実現を目指す市民運動の節目」として、5日には「気候危機、エネルギーと原発」の分科会に参加し、プロダイバー・環境活動家の武本匡弘さんの話を伺いました。武本さんは40年以上にわたり国内外の海に潜り続けてきた経験を基に、昔と今の海の環境の変化を通じて戦争反対を訴えていました。10年ほど前の海と現在の海では、同じ場所であっても様子が全く異なり、かつてはサンゴが生き生きとしていた場所が、今では死滅し、まったく

別の海になっているところが多数ありました。また、私たちは普段さまざまな形でCO2削減に取り組んでいますが、実は戦争こそが最もCO2を排出する行為であると知り、大変驚きました。これからは環境問題など身近なテーマに取り組みながら、戦争の廃止や核兵器の廃絶に向けて発信し続けていきたいと思っています。

(岸和田支援分会 箕輪 賢佑)

「核兵器も戦争もない平和な社会」への願いをあらたに込めてつよくなりました。

(執行委員長 西面 友史)

○参加者の感想



8月4日から6日まで、原水爆禁止2026年世界大会に参加しました。4日は開会総会が行われ、海外からも多くの参加者が集まりました。核兵器の禁止と核兵器のない世界の実現に向けて、これまでの取り組みや今後の活動について強いメッセージを発信されていました。1人で活動を始め、今では200人規模の団体に成長した方もおり、何かを発信することの重要性を強く感じました。

5日には「気候危機、エネルギーと原発」の分科会に参加し、プロダイバー・環境活動家の武本匡弘さんの話を伺いました。武本さんは40年以上にわたり国内外の海に潜り続けてきた経験を基に、昔と今の海の環境の変化を通じて戦争反対を訴えていました。10年ほど前の海と現在の海では、同じ場所であっても様子が全く異なり、かつてはサンゴが生き生きとしていた場所が、今では死滅し、まったく

別の海になっているところが多数ありました。また、私たちは普段さまざまな形でCO2削減に取り組んでいますが、実は戦争こそが最もCO2を排出する行為であると知り、大変驚きました。これからは環境問題など身近なテーマに取り組みながら、戦争の廃止や核兵器の廃絶に向けて発信し続けていきたいと思っています。

(岸和田支援分会 箕輪 賢佑)